

築地双六館の出前授業 「双六を作ろう!」



長野県大町市立大町北小学校の巻

築地双六館館長 吉田 修



▲大町市と北アルプス(爺ヶ岳と鹿島槍ヶ岳)



▲「信州の旅 郷土双六」



▲江戸双六に見入る児童と大日方秀守先生



▲児童の双六作成風景と望月あけみ先生

北アルプス山麓 蕎麦と名水と温泉の町

本年6月20日と7月2日に長野県大町市立大町北小学校(乾ゆり校長)の4年生2クラスで「双六を作ろう!」という出前授業を行いました。大町市は北アルプス(写真上)、仁科三湖、黒四ダムを控える観光地であり、蕎麦と名水と温泉の町としても有名です。

大町北小学校は、創立49周年にあたる本年度が、統廃合による最終年度になります。子供たちにとって何か良い思い出作りができればと双六授業を行いました。

江戸時代の役者双六に驚く子供たち

双六は、一枚の紙に描かれた物語にサイコロを振って、振出しからコマを進め、上りを目指す遊びです。双六はそれぞれの時代を映し出す鏡です。上りにはその時代の夢や憧れが表れています。

今回の授業計画(左ページ写真⑧)では、江戸時代の双六から令和のゲームソフトまで14枚の本物の双六を鑑賞することからスタートしました。子供たちが最初に驚いたのは、江戸後期の異形・絢爛・豪壮の役者双六の

「山門豪傑雙六」(1865年・豊原國周・縦108・2×横90・3cm)。浮世絵と同様、世界に誇れる多色刷り木版画の双六です。

彫りの細かさ、色彩の多様さ、和紙のテイスト、貼り合せ双六の面白さに、皆、席を離れて黒板の前で見入っていました(上の写真左下段)。

信州の郷土双六にも歓声

昭和40年代の「信州の旅 郷土双六」(上の写真左中段)にも歓声があがりました。地元の有名観光地が満載の双六です。「ここ行つた」、「やっぱり、上りは善光寺だ」、「写真よりイラストの方がきれいに見える」……ご当地双六は大人気でした。因みに明治時代の「信州明科實業家繁栄壽嬉録」には、「昔の明科にはこんなにお店がたくさんあったのですね!」と地元出身の先生方が驚いておられました。

多様な個性的な双六発表会

子供たちが作成した双六について、双六名、振出しと上り、ストーリーを一人ずつ発表しました。どの双六もアイデアと個性に溢れ、手描きの味わいがよく表れていま



▲すごろくタイトル

- 1: ハムちゃんのおalloweenすごろく
- 2: 災害すごろく
- 3: 都道府県旅行すごろく
- 4: スヌーピーの休日すごろく
- 5: 山火事からけが人をすくえ!すごろく
- 6: 東急すごろく
- 7: 野球すごろく

す。幾つかご紹介しましょう(上記写真①〜⑦)。

全38枚(共同制作あり)の双六の内訳は表①の通りです。ゲーム・キャラクターの双六が多いのが現代の児童の特徴です。筆者も先生方も知らない言葉が多くあります。Roblox、ヌーブ、スカーレット、イタリアン・ブレイン・ロット、SCP……読者の皆さん、知っていますか? 双六はその時代と子供の関心事を見事に浮彫りにします。ゲームもYouTubeも既に子供の日常に深く染み込んでいます。学びのツールとして、上手く使いこなす保護者側のスキルが求められています。

■双六授業が新たな振出しに

後日、担任の望月あけみ先生はこのようにおっしゃっていました。「子供たちがこのような素晴らしい双六を作ってくれて感心しました。完成した双六で、子どもたちは楽しそうに遊んでいます。二期にはこれをもとに、他の活動とつなげていけたらと思っています。全校の他のクラスにも紹介したり、みんなでさらに大きなものを作ったりしたいと考えています」。

■表① 全38枚の双六の内訳(枚)

ゲーム・キャラクター	暮らし	宇宙・冒険	社会・啓発	ペット・動物	スポーツ
10	8	8	7	4	1



▲大町市立大町北小学校



▲大谷翔平選手贈呈のグローブと筆者

大町北小学校の皆さんは、今振出しに立ったばかりです。今後、ロング&ワインディング・ロードがあるでしょうが、それぞれの上を目指して一マスずつ進むことをおいに楽しんでください。最後に、お願いして大谷翔平選手のグローブを見せてもらいました(写真左)。今回の授業は、私の人生双六の「上り」の前の何マスを彩ってくれたようです。多謝感謝!